

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」河内松原校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			適切である。
	②	職員の配置数は適切である	○			適切であるよう努めているが、職員の入れ替わりはある。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		バリアフリーではないがシンプルな構造で受け入れ幅も広い。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清潔を保つようにしている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		○		会社として取り組みつつあるので浸透できるよ努めていく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			意向を踏まえて改善していく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページ並びに事業所内閲覧にて公表している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価は行っていない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			月1回以上の社内お研修を行っている。
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			ニーズや課題をもとにサービス支援計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			アセスメントツールにて聞き取りを行っている。

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			項目に選択されていないが、具体的な支援内容を設定している。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			支援計画に沿った支援を行っている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			担当が個々で行っているが、相談・アドバイスを相互に行っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			本人のニーズや状況に合わせて変えていっている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			必要に応じて、不定期実施の集団 SST の参加や学校等の連携を図っている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			日々ミーティングを行うようにしているが、個々で把握していることも多く十分に行えていないのできちんと実施していく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			日々ミーティングを行うようにしているが、個々で把握していることも多く十分に行えていないのできちんと実施していく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日々支援の記録を漏れなく記入している。
関係機関や	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的にモニタリング及び支援計画のも直しを行っている。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児発管及び担当者が参加するようにしている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			必要に応じて連携している。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在受け入れはないが、あった場合は連携した支援を行っていく。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現在受け入れはないが、あった場合は連携した支援を行っていく。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			個々の状況に応じて行っている。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			必要に応じて行っている。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			必要に応じて行っている。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		事業所としては行っていない。
保護者への説明責任等	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		参加できていないが今後参加していきたい。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			日々の振り返りで常に行っている。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			行っているが、職員によって対応に差があるので情報共有を図り対応を強化していく。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に行っている。
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			支援計画作成時に行っている。
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			行っているが、職員によって対応に差があるので情報共有を図り対応を強化していく。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		実施できていないので、今後機会を作っていく。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している		○		迅速に対応していくよう努めていく。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		カレンダーでのお知らせのみなので定期的な活動報告が発信できる媒体を考えていく。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○			個人情報の取扱いに十分注意している。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			個々に対応できるよう配慮に努めている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域との交流について今後検討していく。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			十分に周知できていないので閲覧できるよう方法を考えていく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			テーマを変え月に1回程度実施している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			アセスメントの聞き取りで確認している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食事提供はないが、情報として確認している。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		ヒヤリハットがあった場合は共有しているが事例集の作成までは行っていない。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			年1回以上、会社のブロックの事業所合同で行っている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			身体拘束を行う場合は上記虐待研修でも周知しているとおり、手順をきちんと行った上で実施するようにしている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」河内松原校

保護者等数（児童数）：22 回収数：20 割合：91%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	3	0	0	限られたスペースなので今のままだが精一杯かなと思います。	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	3	0	2	どんな資格を持っているのかわからない。できれば職員の資格を教えてください。職員の入れ替わりなどで知識の差を感じる。	職員紹介を掲示しているので、その中に資格を記すなどしていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	2	0	2		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	2	0	0	子どもに合わせてくれる。居心地がいいので「早く行きたい」といつも楽しみにしている。	ありがとうございます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	16	4	0	0	困ったことを相談しても対応がゆったりで、すでにできるようになっており、別の支援が必要になっている場合が多い。	対応が職員によって差があるので、統一できるように情報共有し、みんなで考えて答えていく。

	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	4	0	2	遊んでいるように見えても視力のトレーニングになるなど教えてくれるのですごく参考になる。	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	3	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19	1	0	0	毎回同じことをしている。いろいろプログラムを考えていただいているので飽きずに取り組んでいる。	対応が職員によって違うため、情報協働有していく。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	5	3	3		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	2	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	18	2	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	10	6	2	2	アドバイスをもらったことがない。家でもこうしてくださいなど教えていただけるとはすごくうれしい。家でもできるプログラムを作ってほしい。	対応が職員によって違うため、情報協働有していく。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	3	0	1	いつも子どもの様子を聞いてくれて、良ければ褒めてくれて悪ければなんでだろうと一緒に考えてくれる。	ありがとうございます。

	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	4	2	0	定期的という期間がどのくらいかわからないが半年ほど経つが一度もない。悩みがあればいつでも聞いてくれてアドバイスもくれるので助かっている。困っていることを相談するとの的確に答えてくれる。	対応が職員によって違うため、情報協働有して対応していく。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	4	7	6	参加したことがないのでわかりません。	機会が作れてないので、保護者と協力して「ママカフェ・パパカフェ」などを開催していく。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	5	0	1	いつでも話を聞いてくれる。遊び方・対処法など何でもすぐに教えてくれる。相談しても一人の職員の意見だよりになっている。	対応が職員によって違うため、情報協働有していく。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	4	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	4	0	5		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	18	1	0	1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	3	1	4		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	4	1	8		

満足度	②	子どもは通所を楽しみにしているか	19	0	0	1	休みがちな保育所もきらりがある日は機嫌よく行ってくれる。とても楽しみにしていて、行く前から喜んでいたり、終わったら出来事を話してくれる。幼稚園よりも楽しみにしている。	ありがとうございます。
	③	事業所の支援に満足しているか	15	4	0	0	大変満足している。通所できて本当に良かった。少しずつ本人のペースに合わせていることが増えていっている。子どもが落ち着いてきているし、アドバイスもくれるので来てよかった。	ありがとうございます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。